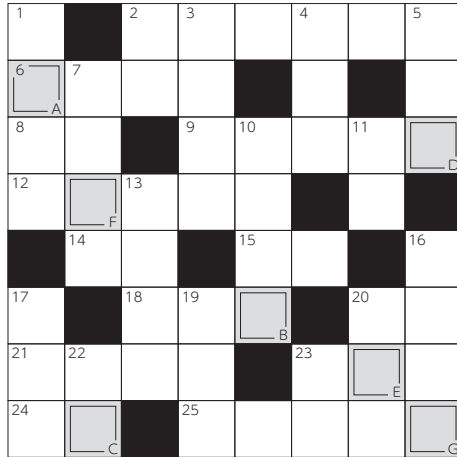


タテ・ヨコの問題を解いていき、AからGの文字を探してことばを見つけてね！

ヒント 市民診療所隣に建設された、健診などを集約的に行う建物。〇〇〇〇〇〇〇センター



【タテの問題】

1. 枕草子より、春は○○○○
2. 5月第2日曜日は○○の日
3. 赤ちゃんの世話をする人。ベビー○○○○
4. ビジネスマン必携物。氏名、連絡先、メールアドレスなど書かれたカード
5. 日本の国技
7. 焼き肉のミノは、牛の○○○○
10. 重要な書類に押されたハンコが本人の物であるか確かめる書類。○○○○証明
11. 組織の頂点に立つ人物
13. 邪魔で目障りなもののたとえ。目の上の○○○○
16. フグのちり鍋のこと
17. 髪の毛が渦を巻くようにみえるところ
19. 相手にも打撃を与えるが、こちらもそれと同じくらい打撃を受けるおそれがあること。○○○○の剣
20. 織田信長と豊臣秀吉が中央政権を握っていた時代。○○○桃山時代
22. 相撲の基本動作の一つ。○○を踏む
23. 京都を舞台に描いた、川端康成の長編小説

応募方法：ハガキに答え、住所、氏名（未成年の場合は保護者名も記入）、年齢、広報つがるに対するご意見などを書き添えてお送りください。正解者の中から抽選で5名の方に「トートバッグ＆ステッカー」をプレゼントします。（5月25日締切 ※当日消印有効）

応募先：〒038-3192 つがる市役所 秘書広報課まで

【ヨコの問題】

- 2 処刑されるのを承知の上で友情を守った物語。太宰治の短編小説
- 6 本人の意思で、自分自身の能力向上や精神的な成長を目指すこと。自己○○○○
- 8 昨年、歌手として初めてのノーベル文学賞を受賞した○○・ディラン
- 9 体内に蓄えられた脂肪
- 12 夜想曲
- 14 あれこれ論ずるよりも証拠を示すことで物事は明らかにすること。○○より証拠
- 15 年長者の経験や知恵は尊ぶべきであるということ。○○の甲より年の功
- 18 会社などの法律上の相談を継続的に受け、解決に努める人。○○○弁護士
- 20 豆腐を厚めに切り油で揚げた食品。○○揚げ
- 21 蒸気により体を蒸らす風呂
- 23 欲しい物や願ひ事を唱えたと願ひどおりの物があらわれる、打ち出の○○○○
- 24 自分のいいところをアピールすること。○○PR
- 25 早合点をして間違えること

4月号の答えは

「チョウジュ」でした。

27名様より応募していただきました。
当選者は次のとおりです。

〔敬称略〕

蝦名則子(稲垣町)、杉野森早苗(木造)、山本栄子(稲垣町)、山谷翔子(森田町)、山谷洋子(森田町)



国際交流員 コラム

CIR Column 国際交流員



「みかんをむく方法は一つだけではない」

私が日本に来て3年
になろうとしています
が、文化や国民性など
について考えさせられることは山ほどあり
ます。

その中で特に不思議に思う点があります。そのことを話すためにまず、みかんの皮の剥き方についてお話したいと思います。こたつの上にポツンと置いてある、冬の象徴として有名なみかんですが、春になっても近くのスーパーでは沢山陳列されています。その陳列されているみかんのそばにあつたイラストもそうでしたが、むき方を見ると、アメリカ人である私にとって面白いと思う点があります。

皆さん、みかんの皮の「普通」のむき方を想像してみてください。頭の中にみかんの皮をむいている人がいたとします。さて、

その人は、どうやって
むいていますか？

私が、周りの日本人に軽く調査してみた結果、上（へた）からむく人と下（おしり）からむく人の違いはありました。



ほとんどの方は、皮が星のような形になるように放射状に順番にむくと答えました。

皆さんはどうですか？普通のむき方というのを想像できますか？

面白いことに、近くに住んでいるアメリカ人の友達何人かに同じ質問をしたら、みんな「普通のむき方ってあるの?」と答えました。なんて意外な反応でしょう。そしてもう少しこのことについて探ってみようと、「普通のむき方ってないんじゃない」というアメリカ人に「あなたはどやって

「むきますか？」と質問をしてみました。その答えは多様多彩でした。意識せず細かくちぎってむく人もいれば、上（へた）からくるくるむいていく人もいました。それに多くの日本人がイメージする普通のむき方をしている人は一人もいませんでした。

もう一つの例をあげます。日本のほとんどの家庭では、家にながるときに靴を脱ぐかと思ひます。例外なくそうでしょう？ですから、テレビや映画でアメリカの家族が靴を履いたまま室内でくつろいでいるのを見たら、「なるほど。アメリカでは日本と違って、家の中でも靴を履くんだ」と飛躍しがちかもしれません。しかし、アメリカにおいて、靴を脱ぐか脱がないかは、各家庭の習慣によります。一般的な習慣や国の文化ではなく、人それぞれの住む地域や家庭の事情で決まります。

日本では、普通や当たり前のこと、またはなんとなくみんなが同じやり方をするということが多いと思います。確かに、それは一番効率的で、素晴らしいと思います。しかし、アメリカと大きく違います。アメリカはよく「自由の国」という風に言われますが、その一つの特徴として「効率性」よりも「多様性」を重視することがあります。アメリカでは、「猫の皮を剥ぐ方法は一つだけではない。」(There's more than one way to skin a cat) とよくいわれます。意味は、「何かをするには多様な方法がある一です。このように、ことわざになるほど、アメリカでは多様性が大切にされています。ただ、私は猫が大好きな人なので、そろそろ「猫の皮」から「みかんの皮」に変わってもいいかなと思います！

国際交流員 ストリンズ・インガ